

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人 国立がん研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	一般消耗品(ビニール袋類)	
契約締結日	平成26年 4月 1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社東京紙店	
入札経緯及び結果	平成26年 3月11日公告 平成26年 3月26日入札書等締切 平成26年 3月27日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	入札品目の内容について、商品仕様を各担当者に確認し、具体的な仕様内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始まで十分な期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	開庁日、10日間の公告期間を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行ったほか、出入している業者に電話連絡も行った。
⑤電子入札システムの導入	×	導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書受領者が一者のため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回は、早めに仕様内容を見直しすることとし、業務準備期間を約1ヶ月以上、公告期間を20日以上それぞれ確保することに努め、公告情報を伝達するなどし、参加者の拡大を図る。		
契約監視委員会のコメント		
他施設における契約業者を調査し、次回はそれらの業者に入札参加を促す必要がある。また予定価格も価格水準に見合うものか、他施設を調査する必要がある。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回入札執行の際には他施設の契約業者及び入札参加業者を調査し、また公告期間も余裕を持って、それらの業者の入札参加を促す。予定価格の算出にも東病院実績、市場価格の調査だけでなく、他施設への価格照会を行うものとする。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
長崎武彦(監事)、小野高史(監事)、林哲治郎(外部有識者)、加藤一郎(外部有識者)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人 国立がん研究センター	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	中圧ガス供給	
契約締結日	平成26年 3月31日	
契約の相手方の商号又は名称等	東京ガス株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年 2月13日公告 平成26年 3月26日入札書等締切 平成26年 3月27日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、各担当者において確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始まで十分な期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	政府調達にかかる規定の日数(土日・祝日を含み、40日間以上)を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載、院内掲示を行ったほか、官報掲載を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	○	説明書受領者に、聞き取りを行った。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
聞き取りを行ったところ、ガス事業新規参入者は一般ガス事業者との間でガス託送供給契約を締結する必要があり、その手続きのため準備期間が必要となる旨の意見があったため、次回は契約締結から履行開始まで1ヶ月以上確保する。		
契約監視委員会のコメント		
次回はいつ頃入札する予定があるかを、事前に参入可能な業者へ伝達しておく必要がある。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回入札執行の際には、参入可能な業者に対し入札予定時期の伝達を行う。また履行開始までの期間も十分に確保し、業者へ入札参加を促す。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
長崎武彦(監事)、小野高史(監事)、林哲治郎(外部有識者)、加藤一郎(外部有識者)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人 国立がん研究センター	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東病院旅費精算業務	
契約締結日	平成26年 5月 1日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本電算企画株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年 4月15日公告 平成26年 4月29日入札書等締切 平成26年 4月30日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、各担当者において確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始まで十分な期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	一般競争にかかる規定の日数(土日・祝日を除き、10日間以上)を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載、院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書受領者が一者のため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回は、履行開始まで十分な期間(1ヶ月以上)を確保する。		
契約監視委員会のコメント		
他施設における契約業者を調査し、次回はそれらの業者に入札の予定を伝達しておく必要がある。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、履行開始まで十分な期間(1ヶ月以上)を確保するとともに、入札公告の周知方法についての工夫を行う。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
長崎武彦(監事)、小野高史(監事)、林哲治郎(外部有識者)、加藤一郎(外部有識者)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人 国立がん研究センター	
案件番号	12	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	医師事務作業補助派遣業務	
契約締結日	平成26年 5月 1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニチイ学館	
入札経緯及び結果	平成26年 4月11日公告 平成26年 4月24日入札書等締切 平成26年 4月25日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、各担当者において確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始まで十分な期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	一般競争にかかる規定の日数(土日・祝日を除き、10日間以上)を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載、院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	○	説明書受領者に、聞き取りを行った。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
聞き取りを行ったところ、業務開始までの準備期間が必要となる旨の意見があったため、次回は契約締結から履行開始まで1ヶ月以上確保する。		
契約監視委員会のコメント		
センターによる改善取組内容の結果を注視したい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、履行開始まで十分な期間(1ヶ月以上)を確保する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
長崎武彦(監事)、小野高史(監事)、林哲治郎(外部有識者)、加藤一郎(外部有識者)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

## 一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人 国立がん研究センター	
案件番号	16	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	ポラス・コリメータ作業業務	
契約締結日	平成26年 5月 1日	
契約の相手方の商号又は名称等	フジデノロ株式会社	
入札経緯及び結果	平成26年 4月11日公告 平成26年 4月24日入札書等締切 平成26年 4月25日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容について、各担当者において確認し、具体的な業務内容の記載となるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	×	履行開始まで十分な期間を確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	一般競争にかかる規定の日数(土日・祝日を除き、10日間以上)を確保した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載、院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	導入していない。
⑥業者等からの聴き取り	×	説明書受領者が一者のため。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回は、履行開始まで十分な期間(1ヶ月以上)を確保する。		
契約監視委員会のコメント		
特殊技術作業のものであれば、作成に必要な期間の確保と、いつ頃入札する予定があるかを、事前に参入可能な業者へ伝達しておく必要がある。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
次回は、履行開始まで十分な期間(1ヶ月以上)を確保するとともに、入札公告の周知方法についての工夫を行う。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
長崎武彦(監事)、小野高史(監事)、林哲治郎(外部有識者)、加藤一郎(外部有識者)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。